

学 科	保育臨床専攻	担 当 教 員	三川 美幸 (実務経験あり)		
授 業 科 目	幼児の音楽遊び演習 I		科目区分	専門科目	1 単 位
必修・選択	必修	授 業 形 態	演習	開 講 時 期	1, 2 年次・前期 (隔年)
授業の主題 目 標	<p>幼児が日常の生活の中で創造性を育むための音楽遊びの手法を認識し、より高度な援助技術について理解を深める。</p> <p>到達目標：保育者の声や楽器などの様々な音楽表現技術について実践を通して認識する。各種の音楽媒体における特徴と援助方法について理解する。既習の音楽知識を用いて、音楽あそびを創造することができる。</p>				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 音楽遊びと保育者の援助について 2. あいさつ・コミュニケーション 3. からだの動きと道具 4. からだの動きとイメージ 5. 声と自己の解放 6. 模倣・ごっこ遊び 7. 季節の遊び 8. 自然物の利用 9. 聴くこと・音あそび 10. 楽器の利用 11. アンサンブル 12. 伴奏の方法 13. 伴奏の応用 14. 創作 15. 作品の発表とまとめ <p>定期試験は実施しない</p>				
実務経験を 活かす内容	保育臨床現場での実務経験を活かし、様々な子どもの表現を引き出す保育援助について実践的な教育を行います。				
テ キ ス ト 教 材	<p>須崎朝子他著「創造性を育む音楽あそび・表現あそび」音楽之友社</p> <p>小林実美編「こどものうた 200」チャイルド本社</p> <p>小林実美編「続こどものうた 200」チャイルド本社</p> <p>文部科学省「幼稚園教育要領解説」フレーベル館・厚生労働省「保育所保育指針解説」フレーベル館</p>				
準備学習の 具体的内容	<p>提示される演習課題について事前学習を行う。</p> <p>授業に関連する内容の事前調査を求める場合がある。</p>				
評価の方法 基 準	<p>課題提出・授業中に課す課題への取り組み (40%)</p> <p>課題発表 (40%)</p> <p>レポート (20%)</p>				
履 修 上 の 注 意	自己表現の演習およびディスカッションに積極的に参加することを求める。				